

## 2010年度 事業報告

### 概況

現場を基点に技術革新と社会変革を俯瞰しつつ新たな変革の原動力を生み出すため、自由な論議の中で切磋琢磨できる場を広く提供していくことを基本方針として取り組んだ。定期的な活動である学術総会、春季討論集会を開催した他、講演会を2回開催した。学会誌『技術革新と社会変革』第3巻第1号を発行し、報文及び短報合わせて5件をWeb上で公開した。会員が議論を深めることを目指して、学会ホームページ上に会員の自由投稿欄「論議の輪」を設けた。また2つの研究会が研究会活動を行った。以上の如く実践的で具体的な活動を展開した。「その他事業（収益事業）」については実績がなかった。

### I. 特定非営利活動に係る事業報告

#### 1. 学術総会の開催

第4回学術総会を以下のように開催した。

日時：2010年9月30日(木) 10:00～18:00

会場：お茶の水女子大学共通講義棟

参加者：54名

内容：①奨励賞伝達式：

以下の受賞者に対して本人出席のもと、奨励賞を伝達した。

須藤繁氏

山田一仁氏

吉田泰典氏

大藤康雄氏

②学術発表：9件

③特別講演：1件 講演者 日高東亜国際特許事務所 日高賢治氏

④研究会報告：1件

#### 2. 春季討論集会の開催

春季討論集会(2011)を2011年3月8日、東京都千代田区学術総合センターにて化学学生物総合管理学会と共同で開催した。

参加者：85名

テーマA：化学物質のリスク評価に関する信頼性と効率的な推進体制を考える

テーマB：プロドライバーの過剰な働き方を考える

テーマC：消費生活用製品の事故情報をどう活かすか

テーマD：ポリシー・イノベーション概念の検証

ーリチウムイオン2次電池の事例を含めてー

各テーマともに最初に全体会で座長から問題提起を行った後に、分科会に分かれて討論を行った。

討論会の参加者

|       |      |
|-------|------|
| テーマ A | 6 名  |
| テーマ B | 9 名  |
| テーマ C | 36 名 |
| テーマ D | 24 名 |

### 3. 講演会の開催

(1) 第4回学術総会(2010年9月30日)に合わせて特別講演会を実施した。

・講師：日高賢治氏（日高東亜国際特許事務所）

「真の知財立国に向けた制度改革のあり方～対中国戦略を中心とした日本のグローバル化の試み～」

(2) 春季討論集会(2011年3月8日)に合わせて特別講演会を実施した。

総合演題「日本で創出されたリチウムイオン2次電池が世界を変えた」

・講師：西美緒氏

「リチウムイオン2次電池の事業化に至る挿話」

・講師：永井愛作氏

「リチウムイオン2次電池の性能を支える材料の実業化の経緯から今後の課題を探る」

### 4. 学会誌『技術革新と社会変革』の発行

(1) 第3巻第1号(2010年8月発行) 総ページ 40 ページ

報文：3件

短報：2件

学会ホームページで公開した。

### 5. 研究会活動

(1) 事件事例研究会

社会で起こった事件事例を題材に根底にある事故原因を抽出し、人間、組織、社会との係りを研究した。2010年度は3件の事件事例研究と2回の全体討論を行った。

(2) イノベーション研究会

企業の事業展開におけるイノベーション事例を研究し、企業の国際競争力の強化や付加価値の増大に資するイノベーションのあり方を研究した。2010年度は3件のイノベーション事例研究を行った。

## 6. 知見の集大成、体系化に関する事業

今年度中の活動実績はなかった。

## 7. 教育・普及・啓発に関する事業

「知の市場」の講座運営に協力した。

(1) 「知の市場」の紹介をホームページやニュースレターで行った。

(2) 以下の講座について学会は連携機関になり、関係する会員が講師として協力した。

| 科目 No. | 科目名            | 副題                                 | 実施場所     |
|--------|----------------|------------------------------------|----------|
| WT301a | リスクコミュニケーション特論 | マスメディアとコミュニケーション                   | 早稲田大学    |
| CT531  | 国際石油論          | 日本とサウジアラビアの戦略的互惠関係の意義と発展のための条件を考える | お茶の水女子大学 |

## 8. 講習およびセミナーの開催

今年度中の活動実績はなかった。

## 9. その他

(1) 自由投稿欄「論議の輪」の活用

2011年3月にホームページの投稿欄「ちょっと一言」を改変し「論議の輪」とした。

今後、個人の意見やテクニカルレポートなどの紹介に活用されることが期待される。

## II. 管理・運営に関する報告

### 1. 会員状況

2010年度の会員数の増減は下表のとおり

|      | 2010年<br>4月1日 | 入会 | 退会 | 2011年<br>3月31日 | 実質増減 |
|------|---------------|----|----|----------------|------|
| 正会員  | 29            | 7  | 4  | 32             | +3   |
| 学生会員 | 0             | 2  | 0  | 2              | +2   |
| 賛助会員 | 2             | 0  | 0  | 2              | ±0   |

賛助会員名簿 2011年4月1日現在（入会順、敬称略）

日本化学工業株式会社

J S R 株式会社

### 2. 通常総会(第5回)

開催日時：2010年6月17日(木)

会場：お茶の水女子大学

主要議案・2009年度事業報告および決算報告の承認の件

・2010年度事業計画(案)および予算(案)の承認の件

・社会技術革新学会奨励賞(2010年)について経過報告

その他、学会誌発行に関する意見交換を行った。

### 3. 理事会

第11回から第14回まで4回開催された。

(1) 第11回理事会 2010年5月13日(木)

主要議案・2009年度事業報告および決算報告

・監査報告

・通常総会議案審議

・学会誌発行と奨励賞授与の件

(2) 第12回理事会 2010年10月14日(木)

主要議案・第4回学術総会実施報告

・中間決算報告

・春季討論集会の進め方

(3) 第13回理事会 2010年12月22日(木)

主要議案・編集委員の委嘱

・学会誌編集に関する討論

・春季討論集会に関する進捗状況確認

(4) 第14回理事会 2011年3月25日(金)

主要議案・2010年度決算見直し審議

・2011年度活動計画(案)及び予算(案)の審議

・規定類の改正と制定の審議

・春季討論集会実施結果報告

・学会誌発行に関する進捗状況報告

### 4. 企画運営委員会

3回開催し、学会の運営に関して具体的な施策を企画、立案するとともに業務の推進、調整を行った。

2010年5月13日(木) 主要議題 ・通常総会議案検討

(理事会と同時開催)

2010年10月14日(木) 主要議題 ・春季討論集会の進め方

(理事会と同時開催)

2010年12月22日(木) 主要議題 ・学会誌編集に関する討論  
(理事会と同時開催) ・春季討論集会に関する進捗状況確認

#### 5. 編集委員会

編集委員会を適宜開催し、学会誌の編集方針や内容の検討を行った。学会誌『技術革新と社会変革』第3巻1号を2010年8月に発行した。また、編集委員をはじめ多くの会員に投稿論文の査読をお願いした。

#### 6. 広報活動

##### (1) ホームページ

学会のPRツールとして、ホームページを開設しており、適宜更新作業を行った。

##### (2) ニュースレター配信

No.43 から No.54 まで 12 回配信し、会員宛の連絡ツールとして活用した。(2009 年度は 16 回)

#### 7. 運営資金状況

当会は、年度内実収入を会計処理基準にしている。会員にニュースレターで納入依頼を行ったほか、未納者各人宛に納入状況を連絡して督促するなどして、会費の納入を要請した。一方で、企画内容を充実させつつ支出管理を行った結果 2010 年度は収入 753,305 円に対し支出 463,538 円となり、当期としては 289,767 円の余剰となり、次期へ繰り越すこととなった。

以上